弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-Kouhei.org

皆さん、こんにちは。今年のかわら版もいよいよ佳境。今月は**朝鮮半島への仏教伝来**です。

★ 衛氏朝鮮から古代三国時代

紀元前二世紀、朝鮮半島を支配していた**衛氏朝鮮**は、中国前漢の武帝に滅ぼされます。

その後、北部で**高句麗（こうくり）**が誕生。南部には**漢族**の群立国家が興隆しました。

やがて群立国家は**馬韓、弁韓、辰韓**の三つにまとまり、馬韓の中から**百済（くだら）**、辰韓の中から**新羅（しらぎ）**が誕生。

朝鮮半島は高句麗、百済、新羅の**古代三国時代**に入りました。

★ 公開土王と聖明王

高句麗への仏教伝来は**三七二年**。中国前秦の僧、**順道（じゅんどう）**によって仏像や経典がもたらされました。

三九四年、**公開土王（こうかいどおう）**が九つの寺を建立。多くの僧が中国に行き、やがて日本にも渡りました。

日本に最初に来た高句麗僧は**慧便（えびん）**。聖徳太子の師となったのは**慧慈（えじ）**です。

百済への仏教伝来の時期は明らかではありません。**三八四年**に中国東晋の僧、**摩羅難陀（まらなんだ）**の来朝記録があるため、それ以前には伝わっていたようです。

五三八年、百済の**聖明王**は日本の**欽明天皇**に仏教を伝えました。

その後は多くの百済僧が来日。**日羅（にちら）**は聖徳太子に教えを説き、**豊国（ぶこく）**は四天王寺の落慶法要の導師を務め、**観勒（かんろく）**は日本で僧正に上りつめ、僧を管理する**僧綱（そうごう）制度**をつくりました。

★ 護国仏教と花郎集団

新羅への仏教伝来時期も不詳ながら、**六世紀**の**法興王**による仏教公認、**真興王**による**興輪寺**建立を契機に仏教が急速に普及しました。

興輪寺伽藍配置

真興王を継いだ**真平王**の時代に**護国仏教**の考え方が浸透。その護国仏教を支えたのが**花郎（かろう）集団**と呼ばれる貴族階級の子弟の集まり。

花郎集団は普段は親睦組織ですが、戦時には軍団に早変わり。自分たちは**弥勒菩薩**の化身という信念を持ち、戦場で絶対に退かなかったと言います。

六七五年、仏教を国教化した新羅が朝鮮半島を統一。**九〇四年**まで続いた新羅時代に仏教が興隆しました。

★ 高麗から李氏朝鮮

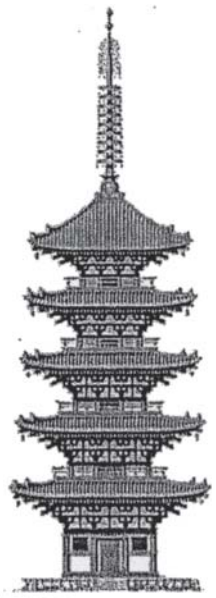
九一八年に建国された**高麗（こうらい）**は、**九三六年**に朝鮮半島を統一。

北方民族の侵入防止に腐心した高麗時代。仏教は護国仏教の色彩をさらに強め、全盛期を迎えました。

十四世紀末になると、北方の女真族や日本の倭寇を破った**李成桂（りせいけい）**が台頭。**一三九二年**に李氏朝鮮を建国。

李氏朝鮮では**儒教**が中心となり、仏教は弾圧されました。寺院は山の上だけに限られ、一般民衆の立入を禁止。僧が強制的に還俗されることもありました。

一九一〇年、李氏朝鮮は日本に併合（**日韓併合**）。第二次世界大戦後の**一九四八年**に**韓国**として独立。仏教も**韓国仏教**として再生を果たして今日に至っています。

★ 日本への仏教伝来

来月は仏教伝来の最終回。いよいよ**日本への仏教伝来**です。**蘇我氏**と**物部氏**の対立を経て、**聖徳太子**が仏教を中心とした国づくりを始めます。乞ご期待。